

ようやく、みちのくプロレス？ 改め「パワーリハ東北支部設立」です！！

運営委員 矢澤 運営員 山口

介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会東北支部がついに設立されました（^0^）／
3月18日（土）PM6：00。「ホテルにいるから早く来て～」ホテルメトロポリタン仙台の会議室に
一番のりをされた山口和之先生から電話がはいりました。支部設立委員会はPM7：00からですから、
いつもの山口先生を知る（！？）私にしてみたら意外でした。すみません m（__）m 東北支部設立に
対する並々ならぬ意気込みでしょうか・・・

東北支部設立にあたって発起人会に参加していただいた先生方は、東北各県から参加ということで、
まだ、ご面識のない方ばかりということで、少しずつ緊張の度合いが増してきました。

「こんばんは！ご苦勞様です」次においでになったのは、福島県生愛会ナースングセンター施設長
の本間先生でした。とてもやさしく気さくな先生なのは以前お会いしたときにも感じたのですが、や
っぱり変わりなかったです。時間が経つにつれ、続々と世話人をお引き受けいただく先生や運営委員
としてご協力していただく方々がお集まりになりました。

PM7：00．いよいよ支部設立委員会が始まりました。

10人の世話人の方々と9人の運営委員の方々の自己紹介から始まり、支部役員の決定（詳細は下
記にて）支部会則の決定、今後の運営方法などの意見交換を行い、最後に山口先生より東北地方にお
けるパワーリハの現状のお話がありました。東北地区は全国的にみても研究会会員が少なく（東北6
県で全国の会員数の約8％）実践施設も決して多いとは言えません。今回の支部設立が良い機会とな
っておおいに広がっていくことを願っています（東北地域の皆様！よろしくお願いいたします）

PM9：00．支部設立委員会が終了し、そのまま懇親会にはいりました。（さすがお酒がはいると）
委員会の時とはうってかわって、和気あいあい和やかな雰囲気の良い会になりました。

PM10：45、竹内教授が仙台に入られ、懇親会にご参加していただきました。

「これで、あとはあしたの設立総会&講演会を成功させれば・・・」緊張をしたまま就寝（_-_-）zzz
3月19日（日）快晴（ホッ・・・）

参加申し込みは290人。「実際に来られる方は何人かな？日本対韓国の野球もあるしな～」と不安
を抱きながら、いざ、会場となる仙台国際センターへ。

受付開始してからは順調に参加人数が増え、最終的には286人の参加者が集まりました。（ホ
ッ・・・）

司会は福島県生愛会ナースングセンターの浅沼先生（ありがとうございました）

東北支部支部長の財団法人黎明郷理事長福田先生よりご挨拶いただきいよいよ開催です。

竹内先生からは「竹内孝仁の『介護予防への戦略的アプローチ』～介護予防理論とマネジメント、
パワーリハビリテーションの実際～をテーマに午前・午後の2部構成で講演をいただきました。

ぜひまた、東北支部企画イベントで竹内先生にはお話をしていただきたいと思います。



昼食休憩の前に支部設立総会が行われ、参加された方々にご承認いただきました。



支部設立総会の様子です。(左から、座長の山口和之先生、竹内孝仁教授、福田道隆支部長、松島忠夫副支部長、本間達也副支部長)

実践報告では栃木県足利市 医療法人慈風会 デイケアセンター野の花様 施設リーダーの宮澤拓也様より通所リハでのパワーリハの現状をお話いただき、東北地区での市町村事業の報告と今後の展望を山口先生よりお話いただきました。

また、会場内にはパワーリハビリテーション研究会推奨コンパストレーニングマシンも展示され、多くの方々が体験をされていました。



今回、東北地域の方々に支部設立のご案内をお出しして、当日まで短期間であったにも関わらずこんなにたくさんの方々にご参加いただき心よりお礼申し上げます。これは皆様からの期待と受けとり、今後もパワーリハビリテーション研究会の目指す方向性の実現のため、研究会本部・各県支部の皆様と連携・協力させていただき、東北地方の皆様とともに、パワーリハビリテーションの普及啓発と会員の自己研鑽をはかり、地域性も考慮した高齢者の健やかな生活への支援をしていく努力を怠らないよう頑張っていきたいと思います。

また、世話人の方々、運営委員の方々、2日間本当にありがとうございました。この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

運営委員の一人としてご報告申し上げます！・・・では、事務局長の山口先生にバトンタッチします！

バトンタッチしました。時間に厳しい事務局担当の山口です さぶっ！w(-)w。福田支部長をはじめ、理事役員を快く受けて頂きました諸先生方、ありがとうございます。当日参加、いきなり役員という先生方すみませんでした。とはいえ、医療福祉といえば西高東低、東北人は、予防・自立しなくて良い！てなわけはありません。誰かが東北改革せねばならないので、東北隅々に普及するまで、しばし役員をよろしく願いいたします。それにしても、参加者がかなり多くて一安心しました。が、これからが本番です、東北が一丸となって、他の支部に遅れをとらないように頑張りたいと思います。また、支部設立に当たり、仙台大学様にはご支援を賜りこの場をお借りして御礼申し上げます<m(__)m>

ということで、支部が立ち上がりましたので、他の支部の方々と連携が取れれば幸いです。よろしく願いいたします<m(__)m>

パワーリハビリテーション研究会東北支部役員（敬称略）

支部長	福田 道隆（財団法人黎明郷 理事長）
副支部長	本間 達也（医療法人生愛会 理事長） 松島 忠夫（医療法人南東北病院 総合南東北病院 院長）
監査	春日 明（医療法人社団三成会 名誉理事長） 朴澤 泰治（学校法人朴沢学園仙台大学 理事長）
事務局長	山口 和之（財団法人脳疾患研究所 附属総合南東北病院）
顧問	渡邊 一夫（財団法人脳疾患研究所 理事長）
理事	武田 春美（弘前大学医学部保健学科 助教授） 小玉 敏央（医療法人正和会 理事長） 佐藤 進（医療法人社団謙昌会 三保野病院） 湯川 英樹（ゆかわ脳外科医院 院長） 伊藤 利明（医療法人宏友会 法人参与） 笹沼 仁一（財団法人脳疾患研究所 総合南東北病院 医師） 広野 延美（介護老人保健施設リハビリ南東北福島 看護師長） 渡辺 芳徳（医療法人社団慈泉会 理事長） 土屋 将一（磐梯町介護老人保健施設）